



メイテックは全国で技術研修を実施

深層断面

国内製造業の雇用には余剰感が強いが、圧倒的に不足している領域もある。その代表格が、企業の会計監査や財務部門。国内外の制度改革の波にさらされていることもあり、専門人材の育成に迫られている。

金融商品取引法に基づき09年3月期から導入が義務づけられた「内部統制報告制度」。正しい決算書を作成するための社内体制の確立が求められる。その中核となる人材が内部監査人だ。会計や監査に特化した

資格取得支援スクールを運営するアピタス(東京都渋谷区)。05年に50人規模でスタートした公認内部監査人(CIA)講座の年間受講者数は07年以降、1000人を突破。09年もすでに800人が受講している。自身も公認内部監査人である三輪豊明社長は「体制整備に伴う上場企業の負担は非常に大きくなっている」としたうえで、「体系的な専門知識の習得に加え、今後は実務に直結した実践的なノウハウが求められる」と指摘。実際、費用対効果が課題になっている。(大生保保)「監



アピタスの公認内部監査人養成講座

財務・会計のプロ不足

国際会計基準への対応も喫緊の課題だ。国際財務報告基準(IFRS)を既に自国基準として活用している欧州諸国に続き、米国も採用へ方針転換。日本も義務化の流れにある。世界的な潮流を見越してアピタスも英国最大の公認会計士協会が実施する資格取得の対策講座を昨秋「アピタスの公認内部監査人養成講座」に追加し、モチベーションを高めるための、新たな成長戦略を打ち出すために、各社には底力が問われている。

技術

今こそ人づくり

「このセンサーはどんな役割をしているのか」「送信用、いや受信用かもしれない」。分解したDVDプレーヤーを前に入社1年目の新人技術者とキャリア20年のベテラン技術者が議論を戦わせる。技術者派遣大手のメイテックが今春から全国32カ所で行ったグループ研修のひとつだ。グループ全体で、常時8000人以上の技術者を雇用し、メーカーの計開発部門に送り込む同社。2008年末以降の顧客企業の減産や新規開発投資の抑制で稼働率は大幅に低迷。現在は約2100人が未稼働状態だ。とはいえ、景気急回復の波に乗るには「何としても雇用は守りきれなければならぬ」と(同社)。そこで雇用調整助成金を活用し、創業来初となる一斉研修に踏み切った。

それぞれ10人程度のグループは電気システム、メカトロニクスなど、あえて専門領域の異なる技術者が混成。メーカーが製品開発の際に用いる分析手法「テリアダウン」を用いて、設計実務におけるプロジェクトを模倣的に経験させる。製品設計に必要な要素技術の習得など技術水準の底上げのみならず、仕事の効率

雇用金活かし一斉研修

「同僚と切磋琢磨する機会が新鮮だったよ。こういう研修を好況期にも実施できるか尋ねてみると、即座にこんな答えが返ってきた。無理でしょうね(中野さん)。」

国内製造業の雇用には余剰感が強いが、圧倒的に不足している領域もある。その代表格が、企業の会計監査や財務部門。国内外の制度改革の波にさらされていることもあり、専門人材の育成に迫られている。

リーダ育成

5月末。都内のホテルに25人の若手起業家が一堂に会した。アメリカン・エキスプレス財団が開催するリーダーシップ育成プログラム「企業家のライフサイクル」に合わせた最適な経営チーム編成とは、「世界に通用する会社の要件は、いずれも経営に直結するテーマだけに議論が白熱する場面も。世界に通用する起業家の育成と、切磋琢磨できる交流の場作りを指し、日本で初めて開催された。株式会社公開(IPO)企業家育成プログラム

社会貢献活動の柱に

数人は激減している。とりわけ08年秋の金融危機以降は上場を見送る企業が相次ぎ、09年上期(1-6月)の全市場のIPO数は上期ペースでは17年ぶりに1ヶ台に落ち込むなど、起業を取り巻く環境は厳しい。こうした中、なせ起業家育成にアメリカン・エキスプレ

「最近の若い世代には組織の中でリーダーシップを発揮する人は損な役回りだと思っ人が増えている。経営層に特化した人材紹介会社、リクルイトエグゼクティブエージェントでマネージングディレクターを務める井上和幸さんは指摘する。景気悪化で各社、中長期的な視点に立った人材育成への余力がなくなりつつある中、企業力を高めるためにも「リーダー育成は重要」(井上さん)になる。

「最近の若い世代には組織の中でリーダーシップを発揮する人は損な役回りだと思っ人が増えている。経営層に特化した人材紹介会社、リクルイトエグゼクティブエージェントでマネージングディレクターを務める井上和幸さんは指摘する。景気悪化で各社、中長期的な視点に立った人材育成への余力がなくなりつつある中、企業力を高めるためにも「リーダー育成は重要」(井上さん)になる。

